

令和6年度  
第1回千葉市立博物館協議会

日時 令和6年8月1日(木)

13:30~15:00

場所 千葉市立郷土博物館 講座室

次 第

1 開 会

2 部 長 挨 拶

3 議 題

(1) 令和5年度の事業報告について

(2) その他

4 閉 会

### 3 議題

(1) 令和5年度の事業報告について

→次ページから

(2) その他

議題2 令和5年度の事業報告について

○加曾利貝塚博物館

1 入館状況

年度	開館日数(日)	来館者数(人)	備考
3年度	308	52,124	
4年度	308	53,378	
5年度	309	56,395	

2 事業実績

	事業内容	実施期間	説明
(1) 維持管理事業	ア 維持管理事業	通 年	加曾利貝塚博物館の施設管理業務及び加曾利貝塚縄文遺跡公園の維持管理業務 ①警備・清掃業務委託 ②草刈業務委託 ③消防用設備等保守点検委託 他
	イ 施設修繕	7 月 11 月 3 月	・加曾利貝塚博物館展示室主幹ブレイカー修繕 ・北貝塚貝層断面観覧施設ガラス修繕 ・加曾利貝塚縄文遺跡公園正面入口脇園路修繕
(2) 資料収集保管事業	ア 資料の整理保管	通 年	資料は埋蔵文化財調査センターと共同で管理しており、相互の連携を踏まえて台帳の整理及び保管状況の確認などを随時実施。 ※第1・第3収蔵庫の解体に伴い、平成29年度に大半の資料を移動。現在、旧幸町第一小学校で約1600箱、埋蔵文化財調査センターで約120箱を保管。
	イ 資料の貸出	通 年	他の博物館等の求めに応じて、資料の貸出等を実施。 ① 資料貸出 2件 2点 ② 写真貸出・掲載 39件 69点 ③ 資料館内利用 5件 16点
(3) 調査研究事業	ア グループ研究	通 年	加曾利E式土器に関する集成研究
	イ 個別研究	通 年	・加曾利貝塚等の出土土器の編年学的研究 ・遺跡保存に関わる実験的研究
	ウ 委託研究		・早稲田大学による地中レーダー探査 ・収蔵資料3Dデータ制作
	エ 『貝塚博物館紀要』の発行	3 月	『貝塚博物館紀要』第50号の発行 A4判 136ページ 300部

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉市内主要貝塚資料分析報告（令和5年度） （西野雅人 埋蔵文化財調査センター）</li> <li>・国史跡月ノ木貝塚について－立会調査報告と過去の調査成果－ （濱秀輝・西野雅人 埋蔵文化財調査センター・服部智至 市文化財課）</li> <li>・関東地方における縄文時代前期の拠点集落の消長と貯蔵穴の関係－前期後半を中心として－ （松田光太郎 埋蔵文化財調査センター）</li> <li>・千葉市台門貝塚出土の壺形土器について （折登亮子 青森県教育委員会）</li> <li>・「縄文土器の製作技法を探る」（3）成形－製塩土器にみる“型起こし成形”の可能性－ （戸村正己 埋蔵文化財調査センター）</li> <li>・房総半島における初期農耕開始期の生業に関する検討 （小林嵩 千葉市教育振興財団埋蔵文化財調査担当）</li> <li>・加曽利 E 式土器資料集成研究⑤－内房地域編－ （渡邊玲 加曽利貝塚博物館）</li> </ul>
(4) 展 示 事 業	ア 常設展	通 年	「加曽利貝塚から縄文時代の貝塚を見る」 資料点数：295 点
	イ 企画展		
	「特別史跡加曽利貝塚 令和4年度発掘調査 速報展」 (企画展示スペース)	3月7日(火)～ 7月2日(日)	令和4年7月～12月にかけて実施した特別史跡加曽利貝塚の発掘調査について、出土資料を中心に発掘の成果を紹介。 資料点数：16 点 入館者数：22,194 人
	初夏のパネル展 「貝層を見る」 (ミニ展示スペース)	5月23日(火)～ 7月30日(日)	平成初期に整備した復元集落の過去の写真と、令和現在の姿を比較しつつ振り返るパネル展。 パネル点数：6 点 入館者数：9,962 人
夏休み企画展 「調べて発見！わたしのまちの縄文時代2023」 + 県内縄文遺跡展 (企画展示スペース)	7月15日(土)～ 9月24日(日)	夏休み期間中の小中学生を対象に、市内の縄文時代の遺跡について解説。遺跡散歩用地図を配布。緑区昭和の森エリア・土気南遺跡群(辰ヶ台遺跡など) 県内縄文遺跡展(有吉北・有吉南・六通貝塚他) ※両展示とも市内の遺跡のみとし、内容を統一した。 資料総点数：63 点 (12+51 点) 入館者数：9,481 人	

	館蔵レプリカ展示 「アサがつなぐ現代 と縄文」 (ミニ展示スペース)	8月5日(土)～ 11月26日(日)	博物館学芸員館務実習生による企画および展示。 実習成果を発表することを目的とし、館蔵の食にか かわる遺物のレプリカなどを解説付きで展示。 資料点数：16点 入館者数：19,878人
	秋の企画展 「縄文人のお祈り」 ※市原歴史博物館連携企画 (企画展示スペース)	10月3日(火)～ 11月26日(日)	令和5年2月に締結した市原歴史博物館との連携協 定の取り組みの一つとしての連携展示。今回は、市原 歴史博物館の秋の企画展「薬師信仰」に関連付け、 「祈り」をテーマとして両館所蔵資料で構成。 資料点数：173点 入館者数：12,436人
	「あれもE これもE -加曽利E式土器- (外房地域編)」 (企画展示スペース)	12月12日(火)～ 3月10日(日)	外房地域出土の加曽利E式土器の資料を中心に、 縄文文化における土器型式の変遷や文化の移り変 わりを解説するなどの展示。 資料点数：113点 入館者数：8,744人
	「特別史跡加曽利貝塚 令和5年度発掘調査 速報展」 (企画展示スペース)	3月19日(火)～ 5月12日(日)	令和5年7月～12月にかけて実施した特別史跡加 曽利貝塚の発掘調査について、出土資料を中心に発掘 の成果を紹介。 資料点数：32点 入館者数：14,064人 ※3月分は1,448人
(5) 教 育 普 及 事 業	ア 講座・イベント 縄文ひろば	4月9日・23日 5月14日 7月9日・23日 8月27日 9月10日・24日 10月8日・22日 11月12日・26日 12月10日 1月28日 2月11日・25日 3月10日・3月24日 の各日曜日 計18回	火おこし体験、紙芝居、貝アクセサリ作り、復元住 居公開・火焚きの実施、史跡公園内ガイドツアー等 を実施。 参加人数：延べ14,710人

縄文春まつり	5月4日(木) ・5日(金)	貝輪づくり、組ひもづくり、縄文不思議発見の旅、縄文工作教室、「教えて学芸員」、加曾利クエスト、物販などを実施  参加人数：7,617人
自然観察ワークショップ	5月27日(土) 2月10日(土)	加曾利貝塚の自然を活かしたワークショップ。指導者を迎え、園内の自然観察を行う。  参加人数：延べ31人
土版づくり講座	5月20日、6月3日、 各土曜日 ※2日間で一連の講座	中学生～成人を対象とした土版づくり体験。粘土素地づくり・成形・整形・焼成を学習した。  参加者：延べ10人
夏休み縄文ウィーク	7月19(水) ～22日(土)	勾玉づくり・貝輪づくり・組ひもづくりの小学生向けの体験学習と縄文自由研究相談室・スマートグラス体験（AR体験）を実施。  参加人数：延べ72人
縄文秋まつり	10月14日(土) ※10月15日は荒天により中止	組ひもづくり、縄文不思議発見の旅、縄文工作教室、スマートグラス体験（AR体験）、「教えて学芸員」、加曾利クエスト、物販などを実施  参加人数：5,673人
加曾利ウォーク	10月28日(土)	市内文化財を歩いて巡る講座。今年度は緑区あすみが丘周辺の遺跡(辰ヶ台貝塚など)を対象とした。  参加人数：18人
縄文時代研究講座	12月16日・23日 1月20日・27日 2月17日 3月2日 の各土曜日	一般市民向けの初級から中級の講座。 第1回「あれもEこれもE加曾利E式土器－外房地域編－」 講師：渡邊玲（当館職員） 第2回「外房の縄文時代集落遺跡－養安寺遺跡を中心に－」 講師：青笹早季（当館職員） 第3回「「GISでみる千葉市の縄文時代」」 講師：武田芳雅（千葉市教育委員会文化財課） 第4回「新田野貝塚を掘る」 講師：平原信崇（千葉県教育庁文化財課） 第5回「香取地域加曾利E式後半の様相について －香取市多田遺跡を中心として－」 講師：上守秀明（千葉県教育振興財団文化財センター） 第6回「九十九里浜沿岸地域の縄文遺跡と動物資源利用」 講師：小川慶一郎（千葉県教育振興財団文化財センター）  参加人数：延べ236人

特別講座 考古学研究の最前線	10月21日(土)	<p>考古学の新たな研究法を模索するため、考古学の研究者を招き、博物館と共に行う講座。 一般市民の参加が可能な上級者向けの講座。</p> <p>『縄文犬研究の最前線』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「縄文人はイヌを何に役立てていたか」 小宮 孟（総合研究大学院大学統合進化科学研究センター 客員研究員）</li> <li>・「古代ゲノムから明らかになってきた縄文犬の起源」 寺井洋平（総合研究大学院大学統合進化科学研究センター 准教授）</li> <li>・「加曽利貝塚のイヌは縄文人と同じものを食べていたのか？」 米田穰（東京大学総合研究博物館 教授）</li> <li>・「狩猟採集社会の農耕化・定住化と犬-現代の狩猟採集民研究の視点から-」 大石高典（東京外国語大学大学院総合国際学研究院 准教授）</li> </ul> <p style="text-align: right;">参加人数：89人</p>
加曽利貝塚博物館・ 市原歴史博物館 連携講座	11月23日(木)	<p>令和5年2月に締結した市原歴史博物館との連携協定の取り組みの一つとしての連携講座。</p> <p>『お祈りの系譜』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「縄文時代の信仰と土偶」 佃沙奈（富津市教育委員会生涯学習課）</li> <li>・「お祈りの系譜-千葉市内の発掘調査成果から-」 長原亘（当館職員）</li> <li>・「古代から近世の病-古人骨と文献から考える-」 谷畑美帆（木更津市郷土博物館金のすず）</li> <li>・「いちはらのお薬師様」 芝崎浩平（市原歴史博物館）</li> </ul> <p style="text-align: right;">参加人数：67人</p>
考古学基礎講座	3月16日(土)	<p>一般市民向けの初級から中級の講座。</p> <p>「動物の骨が語る世界」 服部智至（千葉市教育委員会文化財課）</p> <p style="text-align: right;">参加人数：47人</p>
「発掘調査体験・縄文 ゲーム塾」	4月～3月 土・日曜日・祝日 計118回実施 発掘体験45回 工作教室66回 体験学習7回	<p>発掘調査体験や縄文ゲーム塾（縄文将棋・イボキサ碁）を定期的開催するとともに、縄文工作体験をイベント開催日に合わせて実施。</p> <p style="text-align: right;">参加人数：延べ4,946人</p>
外部イベントでの啓発	10月21日(土) 11月5日(日)	<p>各所で開催されたイベントへ参加し、加曽利貝塚のPRを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モノレールまつり（千葉都市モノレール本社）</li> <li>・若葉区民まつり（東京情報大学）</li> </ul>

	11月12日(日) 12月2日(土) ・3日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書まつり (中央図書館)</li> <li>・まなびフェスタ (生涯学習センター)</li> </ul>
イ 小学校・団体見学		
小学校・中学校 高等学校 ※令和5年度は、高等学校の利用なし	通 年	市内小学校 26 校、市外小学校 17 校、市外中学校 1 校が社会科見学等で来場。史跡内各所の解説および火おこし体験などの学習を指導。 ※ワークシートなども活用
団体	通 年	令和5年度は、計 58 件の一般団体の見学に対応した。
ウ 講師派遣	5月24日(水) 6月14日(水) 6月20日(月) 6月28日(水) 7月12日(水) 7月26日(水) 9月23日(土) 10月7日(土) 11月21日(火) 11月25日(土) 12月6日(水) 12月9日(土) 1月25日(木) 2月3日(土)	<p>職員が各施設に出張して加曽利貝塚について講義・講演を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉市生涯学習センター (千葉市教育振興財団)</li> <li>・千葉市生涯学習センター (千葉市教育振興財団)</li> <li>・大学講義ゲストスピーカー (東都大学)</li> <li>・千葉市生涯学習センター (千葉市教育振興財団)</li> <li>・公民館講座 (緑が丘公民館)</li> <li>・千葉市生涯学習センター (千葉市教育振興財団)</li> <li>・千葉市立郷土博物館</li> <li>・図書館講座 (緑図書館)</li> <li>・公民館講座 (新宿公民館)</li> <li>・図書館講座 (みやこ図書館)</li> <li>・職業講話 (幸町第2中学校2年生)</li> <li>・図書館講座 (若葉図書館)</li> <li>・ゲストティーチャー (桜木小3年生)</li> <li>・図書館講座 (美浜図書館)</li> </ul> <p style="text-align: right;">派遣回数：14回</p>
エ 出張展示	4月26日(水)～ 5月8日(月) 9月12日(火)～ 9月25日(月) 9月26日(火)～ 10月9日(月) 10月1日(日)～ 10月24日(火) 10月1日(日)～ 10月12日(木)	<p>組織的な依頼があった場合、加曽利貝塚のPRを行うための出張展示を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉市生涯学習センター (千葉市教育振興財団)</li> <li>・稲浜ショップ (千葉経済開発公社)</li> <li>・高洲ショッピングセンター (千葉経済開発公社)</li> <li>・八千代市民ギャラリー (株式会社オーエンス)</li> <li>・穴川コミュニティセンター (株式会社京葉美装)</li> </ul>

		11月1日(水)～ 11月30日(木) 1月5日(金)～ 2月29日(木) 1月17日(水) 1月31日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みやこ図書館</li> <li>・美浜図書館</li> <li>・畑コミュニティセンター（株式会社京葉美装）</li> </ul> <p style="text-align: right;">計8回</p>
	オ 職場体験の 受け入れ	6月20日(火)～ 22日(木) の3日間	<p>職場体験の機会を提供した。内容は主に学芸業務（資料整理の実務など）を体験。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・葛城中2年生</li> </ul> <p style="text-align: right;">1校3人</p>
	カ 博物館実習の 受け入れ	7月27日(木)～ 8月4日(金) の8日間	<p>学芸員課程履修中の学生4 大学4人の館務実習生を受け入れ、施設の維持管理、資料整理、展示など教育普及事業の補助などを行った。</p>
	キ 博物館ボランティア の活用・育成 【ガイド活動】  【研修講座】	通 年  6月13日、 20日、27日 の各火曜日 7月5日(水)～ ～9日(日)	<p>博物館の業務を支えるボランティアを育成し、博物館活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容 博物館内および遺跡公園内の解説、体験学習（火おこし体験など）を主体的に実施。 自主および依頼イベント開催時に体験学習などを実施。</li> <li>・活動日時 火曜日～日曜日、館のイベント実施日などの期間 10時00分～15時00分、その他見学団体からの要請に適宜対応</li> <li>・登録人数：59人※R6.3月末時点</li> <li>・年間解説：159回 延べ14,821人</li> <li>・基礎講座（全6回※3日間） ボランティアに関する基礎的な知識の習得を目的に生涯学習センターで実施。</li> <li>・専門講座（全5回） 加曽利貝塚の歴史などに関する専門的な知識の習得や体験学習・展示解説の実習を目的に加曽利貝塚博物館で実施。</li> </ul>
(6) その 他	ア 千葉県博物館協会 イ 全国博物館長会議 ウ 全国歴史民俗系 博物館協議会 エ 日本博物館協会	5月24日(水) 7月5日(水) 7月13日(木) ・14日(金) 11月15日(水) ～17日(金)	<p>総会（千葉県立中央博物館） 文部科学省（文部科学省講堂） 年次総会（沖縄県立博物館・美術館）※不参加 第71回全国博物館大会（千葉市文化センター・千葉市）</p>

○郷土博物館

1 入館状況

年度	開館日数（日）	来館者数（人）	備考
令和3年度	308	44,648	
令和4年度	309	56,522	
令和5年度	309	49,593	

2 事業実績

	事業内容	実施期間	説明
(1) 維持管理事業	ア 維持管理事業	通年	郷土博物館施設の管理業務委託の実施 ①警備委託 ②清掃委託 ③エレベーター等設備関係保守委託他
	イ 設備改修事業	通年	4階空調設備工事を実施 ※保全予算一元化対象事業
	ウ 展示リニューアル設計	通年	館内の展示リニューアルの設計を行った。 ・展示リニューアルのコンセプト 「郷土千葉のあゆみ、そのダイナミズムがわかる博物館への再生」 ・展示テーマ 陸と海・人とモノを結ぶ「千葉」
(2) 資料収集保管事業	ア 資料の収集	通年	展示・研究等に必要な資料の収集を行った。 火縄銃など13点の寄贈等を受け、資料として登録した。 他に、展示用の古文書の複製を7点制作した。
	イ 資料の整理保管	通年	収蔵資料の再整理作業を行い、基本カードの再確認、資料のデジタル撮影を進めた。また、他の博物館等の求めに応じて、資料の貸出等を行った。 ①資料貸出 4件 39点 ②写真貸出・掲載 9件 21点 ③資料館内利用 0件

	ウ 新規収蔵資料 燻蒸	1月	新たに寄贈、寄託等を受けた資料の燻蒸を行った。
	エ 収蔵庫・展示室 等環境調査	7月～11月	本館及び収蔵庫について、展示・収蔵環境の現状を多角的に把握し、展示・収蔵資料のよりよい保存環境を整備するために環境調査を実施した。
(3) 調 査 研 究 事 業	ア 館内調査研究	通 年	企画展等に伴う資料調査を実施した。
	イ 千葉市民俗資料 調査	通 年	当館所蔵の民俗資料等（主に信仰関係）の調査を行った。
	ウ 千葉氏関係資料 調査	通 年	各地に残されている千葉氏に関する資料や情報を収集調査し、一部を研究紀要に掲載した。また、令和7年度末に刊行予定の『千葉氏関係資料集』の編集作業を進めた。  ・千葉氏関連石造物の調査 ・佐賀県小城市の調査
	エ 『研究紀要』の 発行	3 月	『研究紀要』第30号の発行 A4判 40ページ 500部 ・千葉氏関係史料調査会調査概報（六） ・令和5年度特別展関係研究ノート
(4) 展 示 事 業	ア 常設展	通 年	千葉市に関わる歴史資料の展示 1階 歴史年表、千葉市域の城郭遺跡、千葉市に関するミニ展示など。 2階 所蔵資料にみる日本の武器・武具 天文資料コーナー ※特別展期間中は撤収 3階 千葉氏の興亡と妙見信仰 4階 近現代の千葉 5階 展望室（パネル展示など）
	イ 特別展 「関東の30年戦争 『享徳の乱』と千葉 氏一宗家の交代・本 拠の変遷、そして戦 国の世の胎動一」	1月16日(火)～3 月3日(日)	15世紀中頃、全国に先駆けて関東の戦国時代の幕が明け、そのなかで千葉氏は、宗家の交代と千葉から本佐倉への本拠の移動、武蔵千葉氏の分立という大きな変動を経験する。従来、千葉氏の衰退という否定的なイメージで語られてきたこの間の動向について、近年の研究成果を踏まえて捉えなおすととも

(2階展示室)		に、関東戦国史という大きな枠組みを通して紹介した。  資料点数： 128点 入館者数：6,594人
ウ 企画展		
「商人たちの選択—千葉を生きた商家の近世・近現代—」 (2階講座室)	7月11日(火) ～9月3日(日)	県都となって150年の節目にあたり、激動するまちの歩みを商業活動に焦点をあてて見ていこうという展示。千葉のまちの繁栄を支えた多くの商家がある中で、今回は特徴ある岩田屋(和田商店)、多田屋、奈良屋の3家を中心として取り上げ、事業の様子や時代の激動の中における商人としての様々な選択について紹介した。  資料点数： 198点 入館者数：5,559人
パネル展「京(みやこ)と千葉氏(1階展示室)」	5月25日(木)～ 11月19日(日)	坂東武士の典型とされる千葉氏だが、当時の武士は文化・経済の中心地でもあった「京(みやこ)」と深い結び付きを持っており、地方の所領と京との間を頻繁に行き来し、皇族や貴族などの中央の権力者とも密接な関係を築いていたことなどについて紹介した。  資料点数： 52点 入館者数：18,512人
「幸福を祈る—古代人の願いと造形—」 (市埋蔵文化財調査センターと共催) (1階展示室)	11月23日(木)～ 1月28日(日)	千葉に生きた古代人は、農民として米や布をつくるとともに、兵士として東北や九州に赴任し、あるいは政府や要人につかえるなど、さまざまな形で古代国家の基盤づくりに関わっていた。これまでの膨大な発掘成果から見えてきた、積極的に幸せを願い、活発に生きた人々の姿を展示するとともに、千葉は民衆仏教開花の地であったことについて紹介した。  資料点数： 192点 入館者数：7,291人

(5) 教育普及事業	ア 講座・イベント		
	鎧やむかしの着物の着用体験	毎月第3土曜日	中世の鎧を身に着けて、その重さや動きやすさなどを体験することで、歴史を親しみながら学ぶ機会とした。  参加人数：278人
	ちょっと昔の遊び体験	毎月第2土曜日	かざぐるまやぶんぶんゴマづくり、折り紙など昔なつかしい作って遊ぶ体験  参加人数：1,028人
	夏休み郷土史講座	7月26日(水)・27日(木)	小学生4～6年生と中学生を対象に博物館周辺の遺跡等を巡りながら講義を行った。  参加人数：6人
	火縄銃演武	8月20日(日)	火縄銃の実射(空砲)や鉄砲隊の装束、撃ち方などを間近で学べる火縄銃演武を行った。  参加人数：100人
	鎌倉騎馬武者体験	11月11日(土)	鎌倉時代の武士が用いた大鎧などを着用して郷土博物館前で乗馬体験を行った。  参加人数：37人
	歴史講座	1月20日(土)	特別展と関連して「関東の30年戦争『享徳の乱』と千葉氏の動向」をテーマに開催した。(千葉経済大学と共催) 第1講「享徳の乱ー軍記物語と史実を考えるー」 講師：長塚孝(馬の博物館 前学芸部長) 第2講「享徳康正の変と千葉氏宗家の交代」 講師：遠山成一(千葉経済大学講師)  参加人数：220人
	講座「千葉氏をまなぶ」	10月24日(火) 10月31日(火) 11月7日(火)	生涯学習センターと共催で、「千葉氏に関連した中世の千葉の様子について学習する」をテーマに開催 10/24「頼朝挙兵と常胤参陣の背景 ー政治情勢と人的ネットワークから考えるー」 10/31「享徳の乱における千葉氏の本拠地移転 ー平山城の位置づけをめぐってー」 11/7「特別展解説」 講師：当館職員  参加人数：延べ76人

<p>千葉氏公開市民講座</p>	<p>6月10日(土) 12月9日(土)</p>	<p>6月10日は蘇我コミュニティセンターハーモニープラザ分室を会場に下記の内容で開催した。</p> <p>「千葉氏と浄土信仰」 講師：植野英夫氏（公益財団法人千葉県教育振興財団理事長）</p> <p style="text-align: right;">参加人数：124人</p> <p>講演録を千葉氏ポータルサイトで公開</p> <p>12月9日は千葉大学と共催で、千葉大学弥生キャンパス内けやき会館で「東アジア文化の受容と千葉氏－妙見像と貿易陶磁器からみた文化と権威－」を全体テーマで開催した。</p> <p>講演1 「千葉妙見と真武神」 講師：濱名徳順（仏像研究家・茂原市史編さん委員）</p> <p>講演2 「千葉氏と鎌倉御家人の唐物」 講師：小野正敏（国立歴史民俗博物館名誉教授）</p> <p style="text-align: right;">参加人数：169人</p> <p>映像：千葉氏ポータルサイトで公開 講演録：A4判 60ページ 500部</p>
<p>イ 学校・団体見学</p>		
<p>出前授業</p>	<p>通 年</p>	<p>郷土の歴史について、市内小中学校からの依頼に対し出前授業を行った。</p> <p style="text-align: right;">実施校数：15校（40学級、1,143人）</p>
<p>学校見学</p>	<p>通 年</p>	<p>市内小中学校17校、市外小中学校5校が社会科見学で来館した。</p> <p>※ワークシート等を活用、一部はボランティアによる展示解説を実施。</p>
<p>団体見学</p>	<p>通 年</p>	<p>来館した24団体に対してボランティアによる展示解説を行った。</p>

<p>エ 講師派遣</p>	<p>通 年</p> <p>4月26日(水) 5月31日(水) 6月29日(木) 7月4日(火) 7月19日(水) 7月22日(土) 7月28日(金) 8月5日(土) 9月2日(土) 9月28日(木) 9月30日(土) 11月30日(木) 12月2日(土) 1月25日(木) 2月3日(土) 2月6日(火) 2月24日(土) 2月26日(月) 3月8日(金)</p> <p>他に市政出前講座</p> <p>7月26日(水) 10月31日(火) 3月12日(火)</p>	<p>施設や団体からの依頼に応じて、職員が出張し、館外で郷土史に関する講義を実施した。</p> <p>歴史講座(幸町公民館) 教養講座(千葉県生涯大学校) 歴史講座(黒砂公民館) 歴史講座(鎌取コミュニティセンター) 幕張地元学講座(幕張公民館) 歴史講座(都賀の台自治会館) 歴史講座(幕張本郷公民館) 四街道市民大学講座(四街道市文化センター) 歴史講座(山王公民館) 歴史講座(みつわ台公民館) 歴史講座(誉田公民館) 佐倉市民カレッジ(佐倉市立中央公民館) 里見氏研究会(敬愛大学) 歴史講座(若松公民館) 歴史講座(幕張本郷公民館) 東庄町学校運営協議会(東庄町公民館) 教養講座(千葉県生涯大学校) いきいき大学校(千葉市民会館) 教養講座(千葉県生涯大学校)</p> <p>①千葉開府900年に向けて、千葉氏を知ろう ②郷土博物館ってどんなところ</p> <p>①花見川いきいきセンター ①長作公民館 ①都賀コミュニティーセンター</p>
<p>オ 職場体験の受け入れ</p>	<p>6月21日(水)～22日(木)</p>	<p>職場体験の機会を提供する。内容は主に学芸業務(資料整理の実務など)を体験。</p> <p>1校2名</p>
<p>カ 博物館実習の受け入れ</p>	<p>8月18日(金)～23日(水)</p>	<p>学芸員課程履修中の学生2人の館務実習生を受け入れた。実習内容は、資料の整理、資料の取扱、教育普及事業の補助などを行った。</p>
<p>キ 博物館ボランティアの育成・活用</p>	<p>通 年</p>	<p>博物館の業務を支えるボランティアを育成し、博物館活動の充実を図る。</p> <p>活動内容：館内の展示解説 活動日時：開館日</p>

			<p>10時30分～12時、12時～13時30分 13時30分～3時</p> <p>他に見学団体からの要請に対応 登録人数 56人</p> <p>解説回数：1,079回、参加者数：2,799人</p> <p>○育成関係 基礎講座：ボランティアに関する基礎的な知識の習得を目的に生涯学習センターで実施。 ※R5は当館からの受講者なし。 専門講座：千葉市の歴史に関する専門的な知識の習得を目的に郷土博物館で実施。 展示解説実習：展示解説の実際を知るための実習。</p>
(6) 市史編さん事業	ア 市史編さん資料調査	通 年	<p>千葉市域に係る歴史資料の調査を通年で実施した。</p> <p>①市場町 和田文書（5次分） ②犢橋町 小島家文書（3次分） ③栄町 村田家史料 他</p>
	イ 史料編の編集	通 年	『千葉市史 史料編 近現代』第2巻目刊行のための編集作業、校正作業を行った。
	ウ 史料編の刊行	3月	『千葉市史史料編 11 近代2』を刊行した。 B5判 503ページ 900部
	エ 千葉市史研究講座		<p>「千葉市史」等をもとに、市域の歴史的事柄を取り上げて史料に基づく歴史を平易に解説した。</p> <p>対 象：一般（定員：200人） 会 場：千葉市生涯学習センター2階ホール</p> <p>第1回 9月23日(土) 講演1 「古代エネルギー革命ー千葉における木炭利用のはじまり」 講師：神野 信氏（千葉市立加曽利貝塚博物館） 講演2 「千葉氏関係の中世石造物について～金石文の調査から～」 講師：早川 正司氏（千葉氏関係史料調査会）</p> <p>第2回 10月14日(土) 講演1 「印旛沼堀割普請における鳥取藩の金策</p>

			<p>―大坂詰豊田宗三郎のフィクサーとしての役割―  講師：須賀 博樹氏（鳥取地域史研究会）  講演2 「大正時代における「民衆の警察化」と千葉市の保安組合」  講師：町田 祐一氏（日本大学生産工学部・千葉市史編集委員）</p> <p style="text-align: right;">参加人数：延べ 134 人</p>
オ	初級古文書講座	1月6日(土) 1月27日(土) 2月3日(土) 2月23日(金・祝) 3月2日(土) 3月20日(水・祝) (全6回)	古文書の解説を通じて、江戸時代の郷土への理解を深める。(午前コースと午後コースを実施、定員を各24人とした) テーマ：江戸時代の村の史料を読む 講師：小代 渉氏（株東京堂出版編集部） <p style="text-align: right;">参加者数：延 240 人</p>
カ	中級古文書講座	11月14日(火) 11月21日(火) 12月12日(火) 12月19日(火) 1月16日(火) 1月23日(火) (全6回)	初級古文書講座に比べ、より高度な理解力と、文章把握能力を身につける講座。 テーマ：江戸時代の村の史料を読む 講師：後藤雅知氏（立教大学文学部教授） 定員：24人 <p style="text-align: right;">参加者数：延べ 125 人</p>
キ	『千葉いまむかし』の発行	3月	『千葉いまむかし』37号の発行 B5判 72 ページ 700 部 ・紙上古文書講座 神職であることの証明 ・作山古墳群 平成八年度の調査成果 ・千葉市千葉神社周辺のボーリングコアから得られた貝類について ・町村制施行～終戦の市長・町村村長一覧 他
ク	ニューズレターの発行	9月、3月 (年2回)	ニューズレター「千葉市史編さんだより」の発行 千葉市史編さんの状況を紹介するため9月と3月に発行した。各 2,000 部
ケ	市史協力員の活動	通 年	古文書整理ボランティア 8人(41回) 新聞記事データベース入力の活動 4人(136回)
(7) 協議会	ア 千葉市立博物館協議会	9月1日(金)  3月15日(金)	第1回 ・令和4年度の事業報告について 第2回 ・令和6年度の予算(案)と事業予定について ・郷土博物館の展示リニューアルについて

(8) その 他	ア 千葉県博物館協 会	5月24日(水)	総会 (千葉県立中央博物館)
	イ 関東博物館協会	6月7日(水)	総会 (栃木県立博物館)
	ウ 日本博物館協会	11月15日(水) ~17日(金)	第71回全国博物館大会 (千葉市)
	エ 全国歴史民俗系 博物館協議会	7月13日(木) ~ 7月14日(金)	年次集会 (沖縄県) ※参加せず

## 【博物館法】

(博物館協議会)

第二十三条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

## 【千葉市立博物館設置条例】

(博物館協議会)

第3条 法第20条第1項[博物館法\(昭和26年法律第285号\)第23条第1項](#)の規定に基づき、千葉市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 法第21条[博物館法第24条](#)の規定による委員の任命は、次に掲げる者のうちから行うものとする。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者

4 委員の任期は、2年とし、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(平成24条例23・令和5条例11・一部改正)

千葉市立博物館協議会委員 名簿

任期：令和5年1月9日～令和7年1月8日

委員名	現職など	専門分野
こじま みちひろ 小島 道裕	元国立歴史民俗博物館教授（歴史研究系）	日本中近世史 博物館教育
ひろた なおゆき 広田 直行	日本大学生産工学部建築工学科教授	コミュニティ施設計画 公共施設再編計画
すずき かずひこ 鈴木 一彦	千葉大学講師	博物館学 博物館経営
こだま りえこ 小玉 理恵子	千葉市立都賀小学校校長	学校教育
しまだて りこ 島立 理子	千葉県立中央博物館事業部長兼研究部長	民俗学 博物館地域連携

令和6年8月現在